

大江宏アーカイブ記述についての解説（2024-07 版）

大江宏アーカイブは、アーカイブズ資料記述の国際標準（ISAD(G)第2版）を使用してその内容を説明（以下、「記述」とします）しています。

アーカイブズ資料の記述は、資料を群として把握し、階層的に記述することが特徴です。資料群全体を意味する「フォンド」、その下の「シリーズ」、「ファイル」、「アイテム」と、資料のまとまりごとに上の階層から記述していきます（図1参照）。

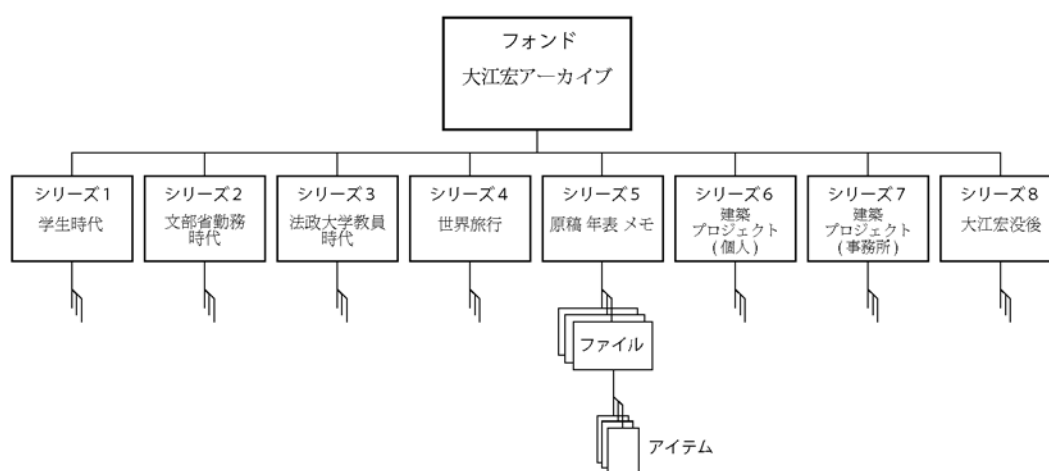


図1 大江宏アーカイブの編成

大江宏アーカイブは8つのシリーズに分類しており、本記述では、フォンド及びシリーズレベルを記述し、その下のファイルの簡単な内容を一覧として示しました。

シリーズレベルの「一覧」に記した「資料内容」は、資料整理の過程で得られた知見も反映しており、内容を端的に表すことを心がけました。そのため、資料そのものに記載されている情報と必ずしも一致しているわけではありません。

ファインディング・エイド

資料検索のために助けとなる情報を全てまとめたものです。

建築プロジェクト概要

建築家のアーカイブにおいて必要な資料を特定する際には、建築家が手がけた建築物に関する情報がひとつの鍵となります。本記述では、調査研究に有用であると思われる項目を独自に設定して「建築プロジェクト概要」を作成してファインディング・エイドに載せました。法政大学で行なっている大江建築の調査過程で得られた情報も反映していますので、併せてご活用ください。

国際標準アーカイブズ記述／ISAD(G)

本記述は ISAD(G)第 2 版に則っていますが、ISAD(G)の記述要素（項目）名には、一般には理解し難いと思われる言葉があるため、一部言い換えを行なっています。国際標準の記述要素（国立国会図書館による日本語訳）と本記述で使用している項目名の対応を以下に示します（使用していない項目もあります）。

ISAD(G)の日本語訳は国立国会図書館 HP より、確認いただけます。

<https://www.archives.go.jp/news/20220803.html>

ISAD(G)の各国語版は国際アーカイブズ評議会（International Council on Archives）HP より、確認いただけます。

<https://www.ica.org/resource/isadg-general-international-standard-archival-description-second-edition/>

ISAD(G)記述要素と大江宏アーカイブ記述項目の対応表

国立公文書館和訳		大江宏アーカイブ	
識別情報 エリア	3.1.1	レファレンスコード	資料番号
	3.1.2	タイトル	資料名
	3.1.3	年月日	資料作成年月日
	3.1.4	記述レベル	資料記述レベル
	3.1.5	記述単位の数量と媒体 (量、容積、大きさ)	資料の数量と形態
コンテキスト エリア	3.2.1	作成者名称	資料作成者名称
	3.2.2	組織歴・履歴	資料作成者の来歴
	3.2.3	伝来	資料の伝来
	3.2.4	収集又は移管による入手先	資料入手先
内容・構造 エリア	3.3.1	範囲・内容	資料内容
	3.3.2	評価、廃棄処分、スケジュール の情報	評価選別・廃棄の予定
	3.3.3	追加受入	追加受入について
	3.3.4	編成	資料編成
公開・利用条件 エリア	3.4.1	公開条件	資料の公開条件
	3.4.2	複製条件	資料の複製条件
	3.4.3	言語・スクリプト	資料記述言語
	3.4.4	物的特徴・技術要件	資料の物的特徴・技術要件
	3.4.5	検索手段	資料の検索手段
関連資料 エリア	3.5.1	オリジナル資料の存在及び所在	オリジナル資料の存在・所在
	3.5.2	複製の存在及び所在	複製の存在・所在
	3.5.3	関連記述単位	関連する資料
	3.5.4	出版書誌情報	出版書誌情報
注記エリア	3.6.1	注記	注記
記述管理 エリア	3.7.1	アーキビストノート	記述したアーキビスト
	3.7.2	規則・慣例	記述に使用した規則
	3.7.3	記述年月日	記述年月日